

西表島にしか存在しないヤママヤ

イリオモテヤマネコ



8割は寝てる!?



夜行性



ニャーと鳴かない!?



母ネコが子育て



なわばりをもつ



色々な物を食べる



冬は恋の季節



低地を好む

イリオモテヤマネコはこんないきもの

1965年に学術的発見されたイリオモテヤマネコは、世界でも西表島にしか生息しておらず、**絶滅危惧種IA類** や **国指定特別天然記念物** として指定されています。最近の調査では生息数約100頭とされ減少傾向がみられています。普通のイエネコと同じくらいの大きさですが、耳が丸い・耳の後ろや目の周りが白い・尾が太いなどの特徴があります。1年に1~2頭の子供を産み、メスが子育てをします。日本にいる野生のネコはイリオモテヤマネコと長崎県対馬にいるツシマヤマネコのみで、どちらもアジアに広く生息するベンガルヤマネコの亜種とされています。

イリオモテヤマネコを守るために

イリオモテヤマネコは今、生息域の縮小や交通事故、ペットや外来生物など様々な脅威にさらされています。ヤマネコを守るため地域の方々や各機関・団体と協力し合い、いろいろな取り組みをしています。



工夫された自動撮影ボックスで個体識別を行っています。



傷病個体の保護や飼育から、生態調査を行っています。



道路の見通しを良くするため、草刈りを行っています。



ヤマネコが目撃された場所や事故地点に看板を設置しています。



道路の下にヤマネコの通る道(アンダーパス)を設置しています。

イリオモテヤマネコを交通事故から守ろう



ストップ！ロードキル

2010年以降、イリオモテヤマネコの交通事故は増加傾向にあります。特にメスネコや仔ネコの事故が多発しており、2018年には過去最悪の9件の事故が発生しました。スピードを落とした安全運転でヤマネコの事故を防ぎましょう。特にヤマネコが活動する夜間の運転には十分に注意をお願いします。目撃情報の収集や草刈りなど、皆さんにも協力いただける交通事故防止の取り組みも行っております。

詳しくはHPをご覧ください→



西表野生生物保護センター

検索



こんな取り組みをしています



キャンペーン

事故が多い期間を中心にキャンペーンを行い、注意喚起や観察会等の普及啓発を行っています。



移動式看板の設置

仔ネコが目撃された場所や出没が多発する地点に移動式看板を随時設置しています。



目撃情報の収集

皆さんから寄せられる目撃情報を整理し、注意すべき区間をお知らせしています。



パトロールの実施

ヤマネコが事故に遭いやすい夜間に、注意喚起のためのパトロールを行っています。



調査・研究

生態を調査することで交通事故防止のための取り組みにつなげています。



草刈りの実施

見通しを良くし、ヤマネコが道路周辺に寄りつかなくするための草刈りを行っています。

● イリオモテヤマネコの目撃情報をお寄せください。 ●
 0980-85-5581 10:00-16:00
 環境省 西表野生生物保護センター
 E-mail : RO-IRIOMOTE@env.go.jp

ケガをしている、死んでいるヤマネコをみつけたら
ヤマネコ緊急ダイヤル
0980-85-5581
 毎日24時間受け付け中



西表野生生物保護センター
「まーや」

交通事故防止のための対策に役立っています。情報をお寄せください。
万が一、ひいてしまっても故意でなければ罪に問われることはありませんので、連絡をお願いいたします。